

横浜市医師会ラジオ講座

小児救急について 第2回

港南台こどもクリニック

院長 たかはし 高橋 あきたか 亨岳

よくある救急①「高熱」

- 子どもの高熱は珍しくない
- 意識、循環、呼吸に異常がなければ大丈夫
- 生後3ヶ月未満、ぐったり、呼吸の異常、発疹
→ 早く受診

よくある救急②「けいれん」

- 意識がない 視線がおかしい 手足が強張る
- 熱性けいれんが多いが、髄膜炎やてんかんも
- 長時間続くと後遺症の恐れがある
- 必ず救急受診する 5分以上続く場合は救急車

よくある救急③「喘息発作」

- ゼイゼイ・ヒューヒューと呼吸が苦しそう
- 重症では脳への酸素が欠乏し危険
- 肩で息をしている、話ができない、顔色が悪い
 - できるだけ速やかに受診

よくある救急④「脱水症」

- 頻回の嘔吐や下痢、熱中症で生じる
- 重症では脳や重要臓器への血流が不足し危険
- 非常に元気がない、手足が冷たい、顔色が悪い
 - できるだけ速やかに受診

迷った時は・・・

- # 8 0 0 0 「子ども医療電話相談」
- 実際に救急外来を受診する
- 大げさと思っても、心配なら相談や受診をする
- 結果的に軽症なら、それが一番良い